

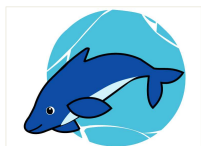


南町小だより

つよく かしこく あたたかく

令和元年 5月31日

校長 星 美 登 里



6年生下田移動教室 ～自立と共生への道のり～

校長 星 美 登 里

新たな時代に突入した10連休明けの5月8日(水)から11日(土)に、6年生と下田移動教室に行ってきました。子供たちは、3泊4日の移動教室の生活や学習のスローガン(めあて)を考え、移動教室に臨みました。生活に関するスローガンは以下のものです。毎晩班長会で一日を振り返り、話し合いました。

<スローガン> 礼儀正しく生活し、お世話になった方々に感謝の気持ちを伝えよう
<守ること> ・礼儀正しくする…たくさんの方々にお世話になるので、自分から進んで挨拶をしよう。
・5分前行動を心掛けましょう。

「集まり」については、集合に遅れないように5分前行動をする意識はあっても、しおりをよく見ずに忘れ物をして取りに戻って結果的には遅れてしまうことがありました。また、5分前に集まれても喋りながら待っていたこともありました。これでは本当の5分前行動になっていないことに気付いた子供たちは、声を掛け合って「自分たちの生活を自分たちで高める」というより質の高い集団生活ができました。

「挨拶」への意識は高かったです。食堂を出るとき、調理員さんたちにお礼を伝えたいという思いから、自然発生的に班のみんなで出口に並び、全員で声をそろえて「ありがとうございます」「ごちそうさまでした」を言うようになってきました。食堂に響き渡る大きな声で挨拶をしているのですが、違和感もありました。なぜ一人と言わないのだろうか？その様子を3日間見ていた担任が、子供たちに「みんな元気よく挨拶をしています、感謝の気持ちが本当に伝わっているのでしょうか」という疑問を呈しました。すると、最後の夜の班長会で、「全員で言うより一人一人が調理員さんたちの前で伝えた方が感謝の気持ちが伝わるのではないかと」気付いたのです。あと一回のチャンス・最終日の朝。一人一人が厨房の中の方々にも直接3日間のお礼を述べに行き、感謝の気持ちを気持ちよく伝えることができました。そこには、調理員さん方の優しい笑顔と子供たちのすがすがしい笑顔がありました。

期間中お世話になった現地の方々や引率の方々から「挨拶がよくできますね」「説明を熱心に聴いていて感心しました」「子供たち同士の助け合い、声を掛け合う姿が素晴らしい」などのおほめの言葉をたくさんいただきました。南町小6年生として、友情の絆を深めながら成長した姿が頼もしかったです。

「なすことによって学ぶ」。移動教室の日々そのものが、まさに「自立と共生」への道程でした。

今年度の「南町小学校年間テーマ」発表！

「共に支え合い、元気にあいさつができ、笑顔あふれる学校」

代表委員会の児童が話し合って決めました。「生活面や勉強面で、困っている人を助けてあげられるみんなであってほしい。元気にあいさつをすることで一日の区切りがついて、また頑張れるし、自分だけでなく周りも元気になるもっと笑顔あふれる学校になっていく。」という代表委員会の思いが込められています。

ふれあい月間の6月にもふさわしい年間テーマになりました。